

## 令和3年度 第2回広島県保護司会連合会正副会長会議 令和3年10月6日

コロナ禍の中、緊急事態宣言の解除により、久々に第2回正副会長会が10月6日(水)に広島保護観察所で開催されました。八崎会長の挨拶に続き、広島保護観察所山田所長より、全国の保護司の現状について講話がありましたので、この紙面を借りて主な内容を報告させていただきます。

総務省行政評価局による保護司活動の実態調査が実施され、平成30年12月より集約、令和3年1月に調査結果が出ました。これを受けて総務大臣より法務大臣に次のような勧告がなされたということでした。

①担当保護司の複数指名の積極的活用 ②保護観察対象者との面接場所の確保と支援の検討 ③報告書に係わる情報技術の活用の在り方 ④保護司候補者検討会議の設置 ⑤市町等の協力要請等

これらの点については、課題もあるので地域の実情に応じて、出来るところから実施してほしい。また、保護司は地域の安全・安心においてなくてはならない存在であり、保護観察対象者も年々減少していても、保護司の数が減少してよいわけではない等でした。

広島県保護司会連合会としてもいきなり活動を元に戻すのではなく、当面は、従来のコロナ対策を行い、現状をみながら慎重に前に進めて行く必要があると思いました。

その後は、令和3年度更生保護功労者顕彰式、広島県保護司会連合会のホームページの活用及びタブレットの活用について、また機関紙“更生保護ひろしま”70周年記念史作成について協議しました。

<参加者>

広島県保護司連合会から会長、副会長、事務局(2名)

広島保護観察所から 所長、次長、企画調整課長、保護観察官

報告/広島県保護司会連合会 本宮達弘 副会長

お知らせ

福山地区保護司会では、毎年“社会を明るくする運動”絵画展inふくやまを開催しています。ふくやま美術館において矯正施設の人たちの絵画、作文、短歌、俳句また小中学校作文コンテストの優秀作品とふくやま美術協会 会員の絵画を展示します。今年度は、令和4年2月15日から6日間ふくやま美術館で実施する予定です。ご案内をいたしますので、皆様是非ともご来場くださり、福山地区保護司会の活動をご覧いただけたら幸いです。



広島保護観察所

勤務時間外における緊急連絡先

夜間・休日等に事件関係等で緊急に連絡を取りたい場合は下記に御連絡願います。

・保護観察事件等 090-8990-3261  
・保護司関係 090-2861-7175

更生保護 ひろしま 第779号

昭和27年8月創刊 毎月1回1日発行 定価35円

編集 「更生保護ひろしま」編集委員会  
発行 広島市中区上八丁堀2-31  
広島県保護司会連合会  
TEL 082-221-4496

本誌内すべての内容の無断転載および複製を禁じます。

料金後納  
郵便

更生保護  
ひろしま

(第三種郵便物認可)  
昭和33年3月30日  
毎月1日発行

第779号

令和3年  
11月1日発行

トウスくん  
(ミニウサギ・男の子)

とても寒がりです。

📷 吉川真奈美さん  
佐伯地区  
更生保護女性会

ペットの写真  
大募集!

目次

- 深化する、少年犯罪(特定非営利活動法人青少年サポートクラブ理事長 吉川水貴)・・・2
- 人事異動のお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- 協力雇用主さんを訪ねて(㈱河野ボデー製作所 河野征夫氏)・・・・・・4
- “社会を明るくする運動”協賛 チャリティー茶会・・・・・・・・・・6
- 地球温暖化について(呉地区保護司 月原廣政氏)・・・・・・・・・・10
- 令和3年度第2回広島県保護司会連合会正副会長会議・・・・・・・・12

# 深化する、少年犯罪

吉川 水貴

特定非営利活動法人  
青少年サポートクラブ理事長

真夜中の本通り商店街。

街灯の下で缶けりをしていた少年達に声を掛けたのは今から十五年前。「君らはサッカーがしたいんか」の問いかけに、無言で頷いた。あの時、私がかかわった暴走族だった少年たちは、立派な大人に成長した。立派と表現できるほど、皆それぞれ見事に立ち直った。私は彼らに特別なことをしたわけでは無い。根気よく彼らの話を聞いてやっただけだ。あの当時、世間を騒がせた暴走族と呼ばれた少年達の姿は、今は無い。だからと言って非行少年がいなくなったわけでは無い。暴走族に入った少年の非行は、分かりやすかった。少々言い方は乱暴だが、彼らは「私は悪い子です」と看板を掲げてくれていたと言える。今の非行少年は、無印で見分けがつかない。普通の子の中に紛れ込んでしまっている。発見が難しく、気が付いた時には、手遅れだ。

たった十数年でこんなに変わるものかと、啞然としてしまう。世の中が変わったのか、少年たちが変わってしまったのか。おそらく両方変わってしまったのだろう。

法規制も強化され、暴走族等の目立った少年非行は影を潜めた。一見平穏そうに見える地域社会も、より陰湿で凶悪化した少年非行が深部でほう芽している。私はここ数年ボランティア活動の一環で、中学校へたびたび出向いた。先生の手に残る少年への対応だ。中学生も上級生になると体格がでかい。昨今、教員の暴力行為が問題になっているが、暴力行為は教員から生徒への一方通行のみではない。中学生ともなると、教師が子どもに手を出せないことを知っていて、挑発してくる者もいる。ひどい時は、先生が叩かれる。一見、暴れる子どもは大変そうに思えるが、暴走族を相手にしてきた私の経験からすれば、分かり易い子どもたちだ。問題なのは、弱いシグナルしか発信しない子供。静かに反抗する子は要注意で危険だ。見過ごし、放置し、気が付いた時には「まさかあんなにおとなしい子が、あんなことをしでかすなんて」のセリフを聞かなければならない羽目になる。まさに想定外のことが起きる。ここ最近、報道で繰り返し聞かされる常套句になってしまった。

今、親を含めた地域の大人や行政、とりわけ学校の先生に何が求められているのだろう。

私は子どものころ、明治生まれの祖父から繰り返し聞かされた呪文のようなフレーズがある。「人の物を取ってはいけない。人をだましてはいけない。殺生をしてはいけない」顔を合わす度に聞かされたような記憶がある。要は、「盗るな、騙すな、殺すな」である。

人として、最低限守らなければならない、当たり前の規範だ。当たり前すぎて、今では言わなくなってしまった。「三つ子の魂百まで」とはよく言ったもので、小さい時に繰り返し聞かされた呪文は、血となり、肉となり、体の一部になっているようだ。学問にしても運動にしても基本が大切なことは、皆よく知っている。基本が大切なことは良く分かっていても、なおざりにされ易い。基本を習得するためには忍耐と根気が必要だ。

今の親の子育てにしても学校教育にしても、このごく当たり前の、人としての根本教育がおろそかになっているのではなかろうか。以前、お寺の門前に「宗教心の無い教育は、賢い鬼をつくる」と書かれた看板を見たことがある。学校の校門に立てるのなら「道徳心の無い教育は、賢い鬼をつくる」だろうか。偉い坊さんなんだろう、今の教育の問題点を喝破している。私は、問題を抱えた子どもに接する時、心がけていることがある。簡単なことだ。子どもだと思わないこと。子どもだと思ってしまうと目線が上からになってしまう。ましてや問題児ともなればなおさらだ。

これも祖父の口癖だったが、「人は道によって賢い。どんな風体の人でも、それぞれ得意なことがある。侮ってはいけない」と良く聞かされた。この年になって、やっとその意味が理解出来たように思う。優秀な子も、非行に走る子も心の底は皆変わりはない。さみしがりで、大人に認めてもらい、褒めてもらいたい子どもたちばかりだ。今の社会は、成果を求めるあまり、子どもたちに肝心な事を伝えていない。今の大人は、明治生まれの祖父よろしく、目線を下げて、子どもたちに本当は何が大切かを、語り掛けなければならない。



## 吉川 水貴 プロフィール

更生保護  
ひろしま編集委員長  
広島佐伯地区保護司  
(広島県庄原市出身)

昭和36年 広島県庄原市生まれ  
昭和56年 ㈱広島千茶荘 入社  
㈱広島千茶荘 専務取締役 就任  
佐伯警察署管内少年補導員連絡協議会 会長  
広島県「減らそう犯罪」推進会議委員  
公益社団法人 青少年育成広島県民会議 理事  
特定非営利活動法人 青少年サポートクラブ 理事長

## 人事異動 のお知らせ

令和3年10月1日付けで、3名の保護観察官については、下記のとおり担当保護区が変更されました。

|       |               |
|-------|---------------|
| 桂木 信行 | 中, 広島安芸, 尾道   |
| 刀禰 和政 | 福山3・4・5・6, 府中 |
| 徳久 幹之 | 福山1・2・7・8・9   |

令和3年9月30日付けで、下記の職員が退職されました。

木村 紀子

## 協力雇用主さん を訪ねて

### (株)河野ボデー製作所

代表取締役会長 河野征夫氏

自動車の特殊ボデー製作及び改造  
(広島市西区)

今回は、人を育て、人を生かす企業づくりで、過去、現在、未来を見つめて進化している(株)河野ボデー製作所(代表取締役会長 河野征夫氏)をご訪問させていただきましたのでご紹介いたします。

(株)河野ボデーは現会長河野征夫氏の実父(河野斐夫氏)が昭和28年に創立され、まもなく創立70周年を迎えます。事業内容は、自動車の特殊ボデー製作及び改造を行っています。

初代社長の河野斐夫氏は昭和30年から、民間篤志家として補導委託(少年法第25条第2項第3号 適当な施設、団体又は個人に補導を委託すること)をされて非行少年を会社で雇用、入寮、食事等は社長夫人が調理、家族とともに寝食をとるにされました。現在、その当時は、幼少であった現会長河野征夫氏に引き継がれ、少年の更生保護に親子2代にわたって心血を注いでおられます。更生保護施設(ウイズ広島、呉清明園)の更生を目指す対象者の雇用にも積極的に取り組んでおられます。

#### <インタビュー>

#### 協力雇用主になられた経緯について

平成27年、南地区保護司会の会長さんを始め、数名の保護司さんが来社され設立の趣旨を説明していただいた。少しでもお役に立つならと思い、入会しました。



河野征夫氏プロフィール

昭和19年 中国満州奉天生まれ  
昭和42年 (株)河野ボデー製作所入社  
平成元年 (株)河野ボデー製作所 代表取締役社長就任  
平成30年 (株)河野ボデー製作所 代表取締役会長就任  
令和元年 南地区協力雇用主会会長就任



消防、国土交通省等の官公庁車両、特殊車両等、様々な車両をニーズに合ったボデーで製作されています。

#### 採否に当たり、人事評価について

見た感じで適・不適は多少感じるが、今までの経験で、実際業務に就いてみないと分からない。学校からの紹介、ハローワークからの採用も余程のことがない限り不採用にした事はなく、仕事内容が向くか向かないかは本人次第だと思っている。

#### 対象者への希望と願いについて

当方が希望や思いを持っていても仕方が無い。あくまで当人の希望と願いを如何に聞き出すか、関連(保護司、支援機構等)の人達が如何に聞き出してしてくれるかによる。

#### 採用後の対象者との交流について

採用前は無理だが、採用後は家族関係や自分の生き立ちをできるだけ自然に聞くことが大切、嫌なことを少しでも聞き出し、その改善を共有する関係ができるかが課題だと思う。職場は同じ建屋内なので、毎日声掛けができるので順調に行けば良いが悪くなる場合もある。私との私的飲食はほとんどしない。社員間もあまり飲み会等はないが、会社の旅行等で皆と打ち解けているのを見ると嬉しい。

#### 更生保護と再犯防止について

更生するかしないかは、社会的に自立できるかにかかっている。衣食住を整え、自律した生活を身に付ける必要性を根気よく指導するとともに、自己責任についても、説いている。特に金銭的自立と云うか、金銭感覚を徹底的に教え込む必要がある。真面目にやれば高い給与が貰えるでは駄目で、日々の家計目標を徹底して行い、貯蓄の裏付け有る生活目標が大切だと思います。当社は特殊自動車(工作車、検診車、消防車等)を一から種々の工程を通して作るため、機械加工、溶接、板金、電気工事、木工家具、塗装等、自分に合った仕事を見つけ出すまでに、色々な経験ができる事と、その技能習得のために先輩達が親切に教える職場だと思っている。ただ、それへの挑戦は本人次第で努力と我慢のいる仕事である。

#### インタビューを終えて

初代社長の河野斐夫氏が利他の精神で、非行少年を補導された経緯を、幼少時代から見て育ち、実父を心から尊敬されていることが強く感じられました。取材中、社員一人ひとりが黙々と仕事に従事、礼儀正しい社員の作法と長時間の取材協力に、スタッフ一同、心から感謝申し上げますとともに、同社の更なるご発展と社員ご一同様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。ありがとうございました。



# “社会を明るくする運動”協賛 チャリティー茶会

令和3年10月13日（水）広島ガーデンパレス 鳳凰の間

鳳凰

“社会を明るくする運動”  
広島県更生保護女性連盟  
チャリティー茶会  
御席



(右) 畝本直美 広島高等検察庁検事長  
(中央) 西岡総一郎 中国地方更生保護委員会委員長  
(左) 織建 末子 広島県更生保護女性連盟会長



ロビーでは刑務所作業品の展示販売があり、多くの方がもてめられていた。



喫茶去とは、中国の唐(618～907)の時代の禅師・趙州(じょうしゅう、778年～897年)の禅語録にある言葉である。『喫茶去』とは『お茶をどうぞ召し上がれ・お茶を一服いかがですか』といった意味であり、『去』は強調の助辞なので特別な意味はない。出典: Es Discovery (<https://esdiscovery.jp/vision/es003/buddha/zengo001.html>)



このお茶会は、更生保護法50周年を期に当時広島県保護司会連合会会長の小林海暢氏（尾道浄土寺長老）の助言で広島県更生保護女性連盟主催“社明”協賛行事として、チャリティー茶会を始め現在に至っています。

コロナ禍の大変厳しい社会情勢のなか、広島県更生保護女性連盟では、お茶席と刑務所作業製品作品展を通し、更生保護活動を展開されています。



刑務作業で作られた香炉台の説明をされる織建会長。



お茶席券は全て完売しており、満席で盛況でした。

# 煎茶席 草庵流 幟建清月



会記

掛軸 秋景山水の図 田中拍陰画  
香炉 碧釉丸形 唐物  
香物 角型花淋 矯正施設製作  
果物 盛 白閑鳥の羽毛 輪島塗  
羽点 栗形 唐物  
茶箱 白泥式 唐物  
涼炉 白泥式 唐物  
水瓶 紅紋竹 鍋島  
蓋注式 青染馬鈴 唐物  
茶心 錫製(漆塗り) 唐物  
急須 堆朱 唐物  
茶碗 紫泥 唐物  
茶托 古渡八角形寄木 唐物  
巾筒 菊花形(三色釉) 三浦竹泉作  
盆布 古渡唐人染付 平賀源内焼  
落葉入 瓢箪 真葛香齋  
茶名 清秋 菓銘 遠神楽



煎茶席 草庵流 幟建清月 担当の皆さま

# 抹茶席 表千家同門会 不審庵 三上宗恵社中



会記

寄付 短冊「萬古静風」 即中齋  
掛物 「静山如太古」 而妙齋  
花入 青銅花桔梗口 倉六  
香合 六角香合 猪有齋  
服紗(桐竹鳳凰唐草) 即中齋好  
立札卓 新渡染付八角水指 而妙齋  
水指 菊桐平なつめ 一兆作  
茶器 赤膚焼 銘 時鳥 即中齋  
茶碗 色絵菊の絵 京焼喜昇作 堀内宗完書付  
茶杓 銘「錦秋」 永田的々齋  
建水 古銅写 棒の先 真葛香齋  
蓋置 一葉 浄益



抹茶席 表千家同門会 不審庵 三上宗恵社中

## 月原さんの南極体験記

## 地球温暖化について

月原廣政 氏  
(呉地区保護司会)

撮影／月原廣政(南極海にて)

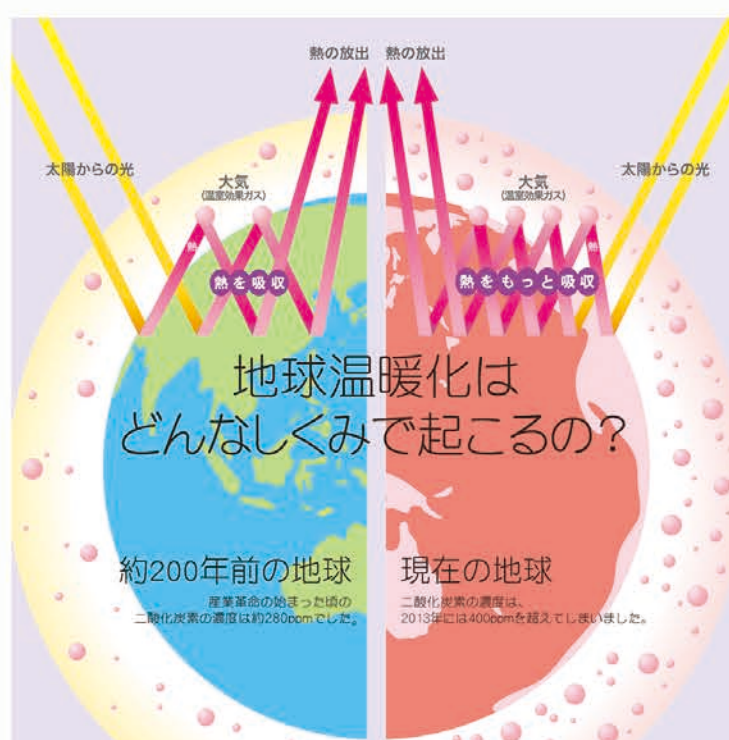
今回は、地球温暖化と北極、南極への影響について話します。北極と南極の大きな違いは、北極は、ほとんどが「海」、南極は「大陸」であります。

地球上の氷の90%は南極大陸に、9%がグリーンランドにあります。南極の氷で最も厚い所は、4,500m、平均では、2,450mあります。

第16次南極観測支援行動中(昭和50年)、諸物資、燃料等を、昭和基地に移送、空輸しているとき、越冬隊員と話す機会があり、越冬隊員がその際、「地球温暖化」で南極の氷は少しずつ溶解しており、将来、地球は大変なことになることを話されました。当時、我が国、世界では、科学者以外は「地球温暖化」の脅威を知らされず、話題にもなっていなかったと推察されます。

20世紀半ば以降に見られる地球規模の気温の上昇、すなわち現在問題となっている地球温暖化の支配的な原因は、人間活動による温室効果ガスの増加である可能性が極めて高いと考えられています。

大気中に含まれる二酸化炭素などの温室効果ガスには、海や陸などの地球の表面から地球の外に向かう熱を大気に蓄積し、再び地球の表面に戻す性質(温室効果)があります。18世紀半ばの産業革命の開始以降、人間活動による化石燃料の使用や森林の減少などにより、大気中の温室効果ガスの濃度は急激に増加しました。この急激に増加した温室効果ガスにより、大気の温室効果が強まったことが、地球温暖化の原因と考えられています。



出典) 温室効果ガスと地球温暖化メカニズム 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト(<https://www.jccca.org/>)より  
気象庁ホームページ「地球温暖化の原因」([https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/chishiki\\_ondanka/p02.html](https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/chishiki_ondanka/p02.html))より

## 地球温暖化による主な影響

海の水が増え、  
陸地が減少する。

南極、北極の氷、氷河が溶けて海の水が増えて、低い場所にある陸地、小さな島が海に沈没します。



## 動物、植物が減少する。

海水の水位が上昇し、陸地が減り、動物や植物が少なくなる。すでにホッキョクグマは、生存が困難となり、その数は減少している。

## 気候が変化する。



これまで寒かった地域が暑くなったり、風の吹き方も変わること大雨、洪水、台風が増える。落雷が増えて、山火事等が起きる。

## 病気(伝染病)が増加する。



地球全体が暖かくなると、気温が上昇してアフリカなどの暑い地域で発生していた伝染病(「マラリア」など)が拡がり、感染者が増える。

このまま地球温暖化がすすみ、南極の棚氷が溶けてゆくと、水位上昇、陸地は水没、陸地面積が減り、南極の氷が全部溶けると、水位は60m上昇、ニューヨーク、ロンドン、東京は水没してしまいます。地球温暖化の原因である二酸化炭素の削減は、経済活動するすべての国が取り組む必要があります。

人類は経済発展等で化石燃料(石油、天然ガス、石炭)の使用量は増加、大量の温室効果ガスを排出しているのが現状です。化石燃料の使用量がこのまま進むと、2100年には世界の平均気温が4.8℃上昇します。地球全体の温度上昇で、南極、北極の氷が溶けており、南極のペンギン、北極に生存するホッキョクグマ等が生存できなくなります。

現在、先進国の温室効果ガスの削減を義務とする「京都議定書」や先進国、発展途上国問わず、温暖化対策に取り組むことを定めた「パリ協定」で対策を話しています。世界中の人たちが地球温暖化を理解、未来の子供たちのために、地球環境を守るため、私たちが真剣に対策を講じる必要があります。



画／月原廣政

月原廣政 氏  
プロフィール

更生保護  
ひろしま編集委員  
呉地区保護司  
(広島県呉市川尻町出身)

昭和43年 海上自衛隊入隊  
護衛艦たかつき乗艦(機関科)  
第2術科学校入校(機関科普通科)  
昭和49年 砕氷艦ふじ乗艦(機関科ディーゼル員)  
(第16次・第17次南極観測支援参加)  
平成5年 砕氷艦しらせ乗艦(機関士)  
(第35次・第36次南極観測支援参加)  
平成14年 海上自衛隊退職